

JIPAシンポジウム

「経営環境変化に応じた取組と経営層とのインターリレーション」

# パナソニック電工の知財活動のご紹介

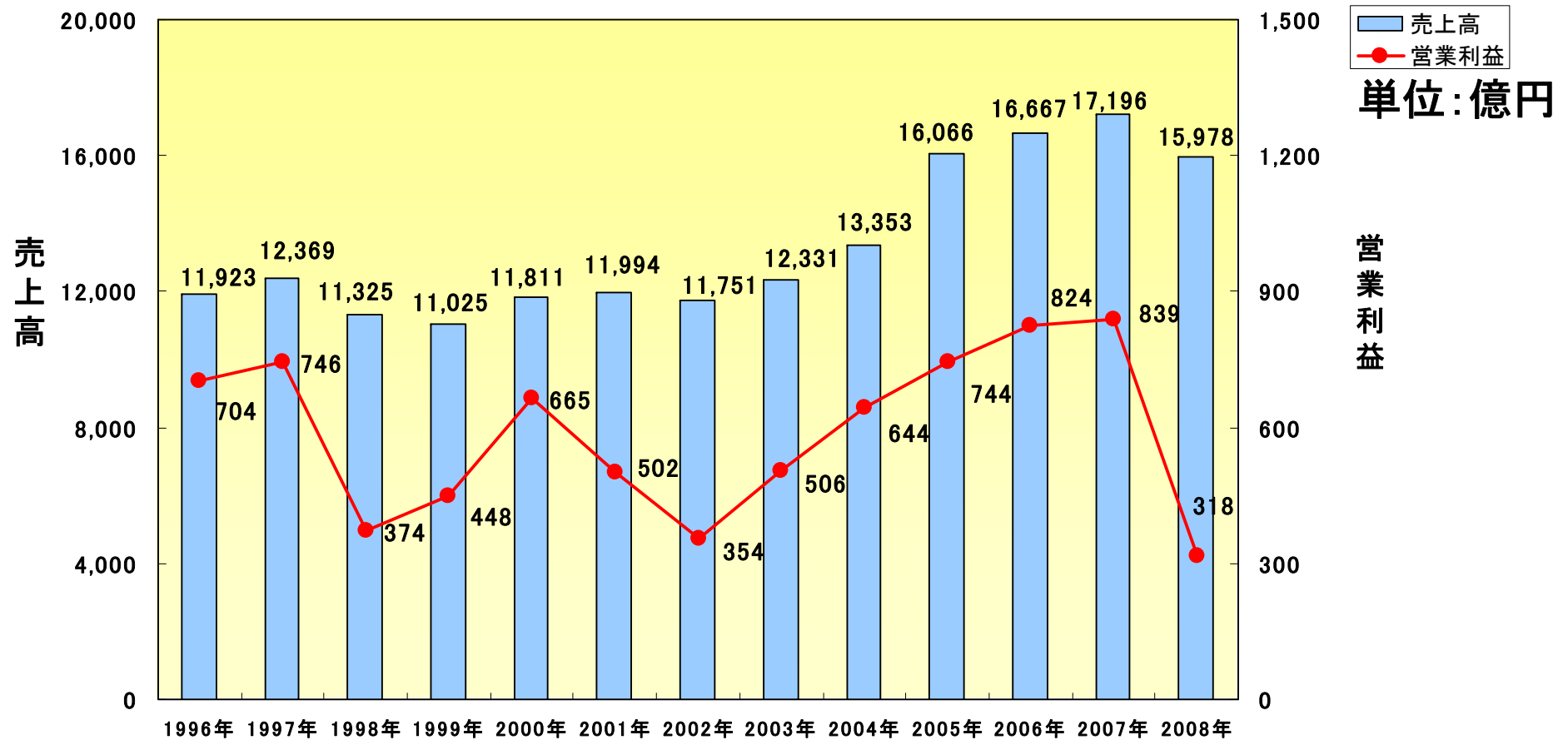


2010. 3. 2.

パナソニック電工株式会社  
知的財産部

## パナソニック電工の経営推移：売上、営業利益推移

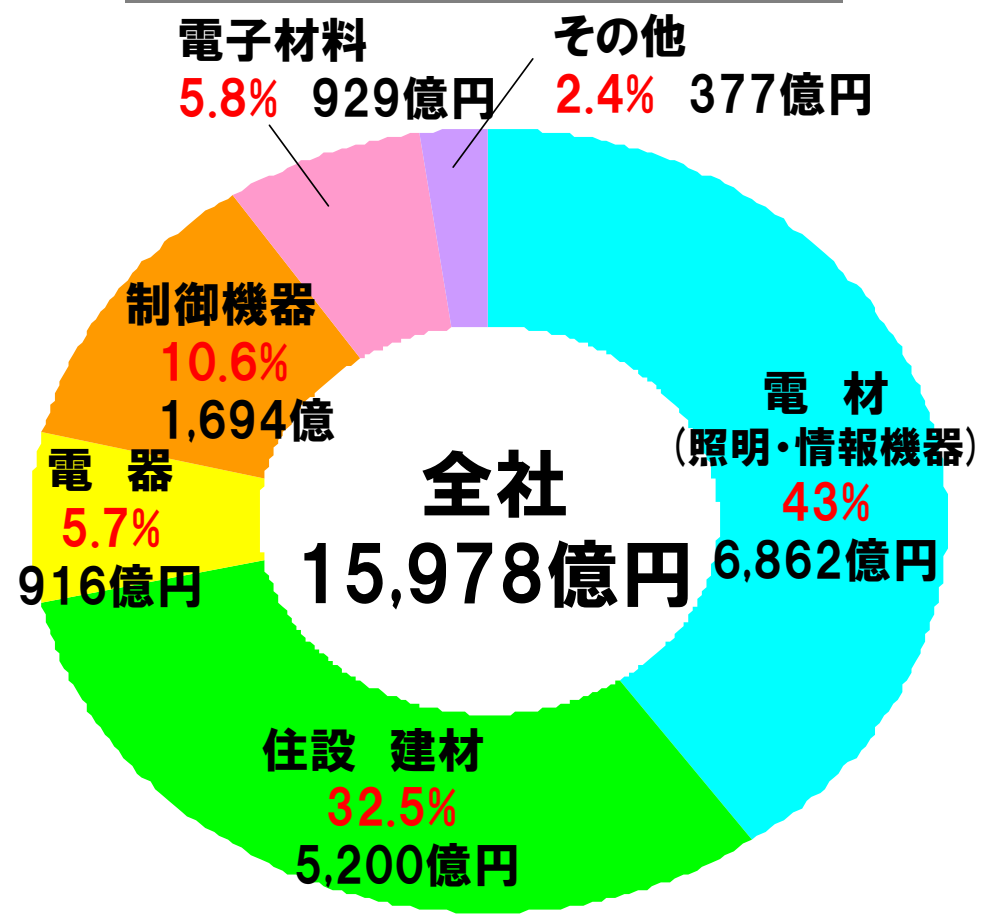
➤ 創業以来、黒字を継続 ⇒ **経済情勢の影響**



# パナソニック電工の基幹事業

6つの基幹事業	照 明	
	情報機器	
	住設建材	
	電 器	
	制御機器	
	電子材料	

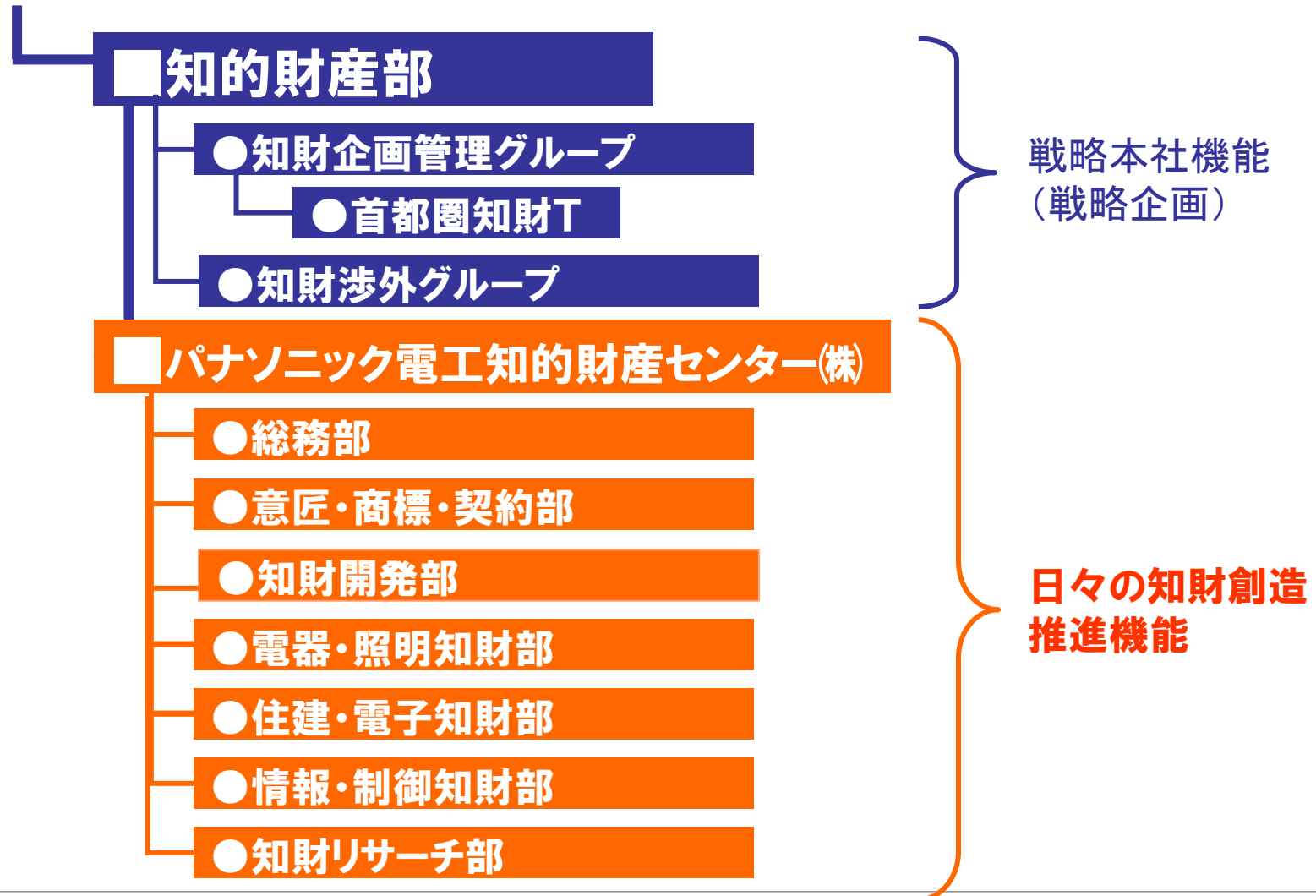
連結販売額 (2008年度)



# 1.経済情勢の変化と知財部門の取り組み:会社の状況、取組

## 知的財産部門の組織体制 正社員:100名前後

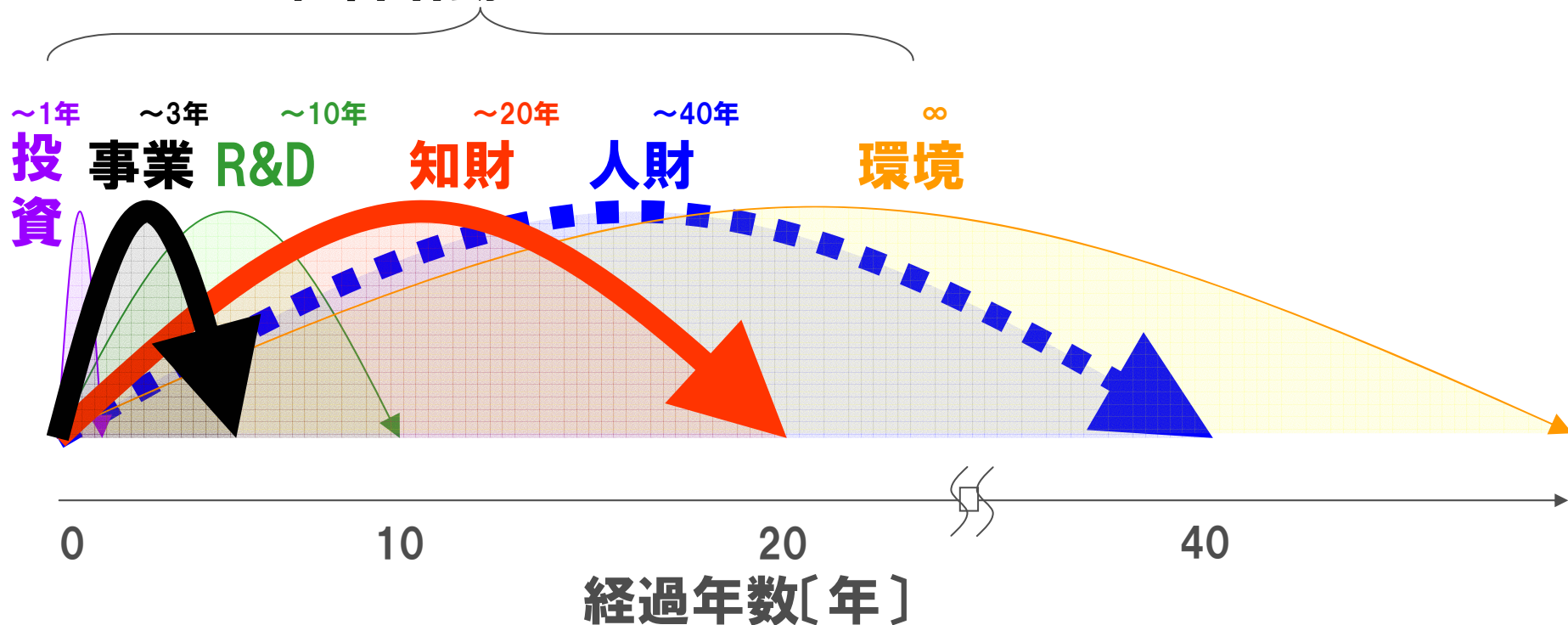
専務取締役 棚橋正雄(全社技術部門担当役)



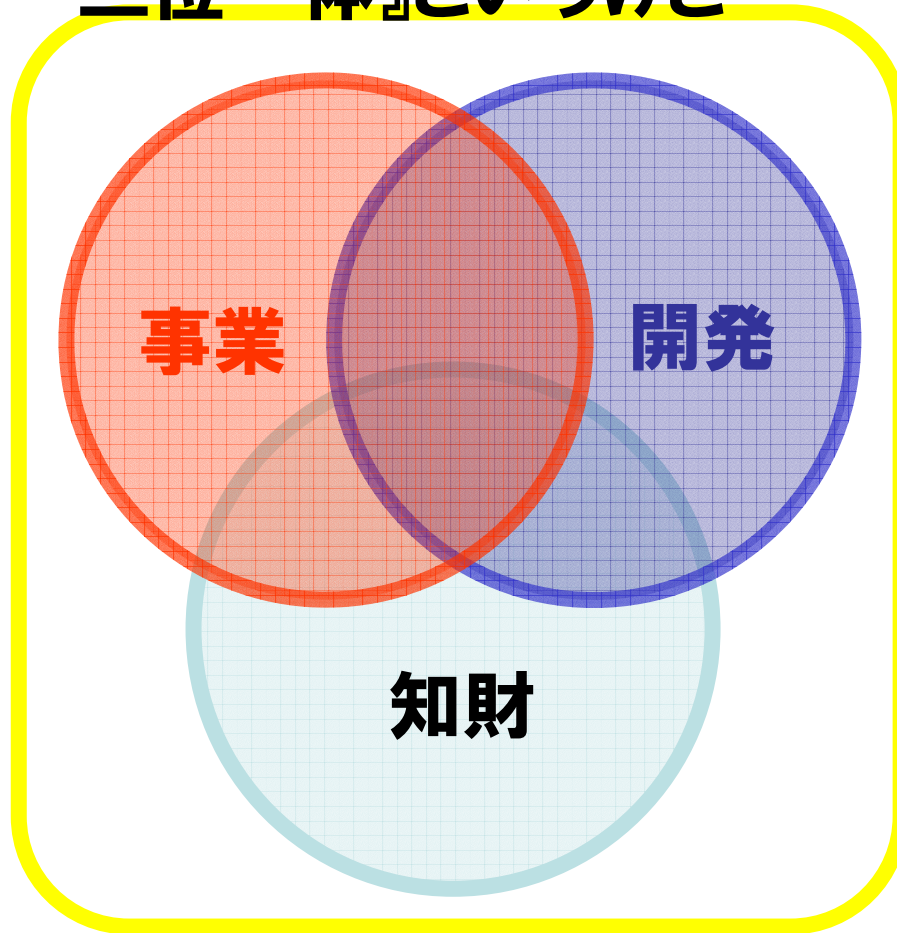
## 経営の諸活動は、各々の周期が異なる

「事業と知的財産は、その経営の周期が異なる」  
シャープ・太田専務

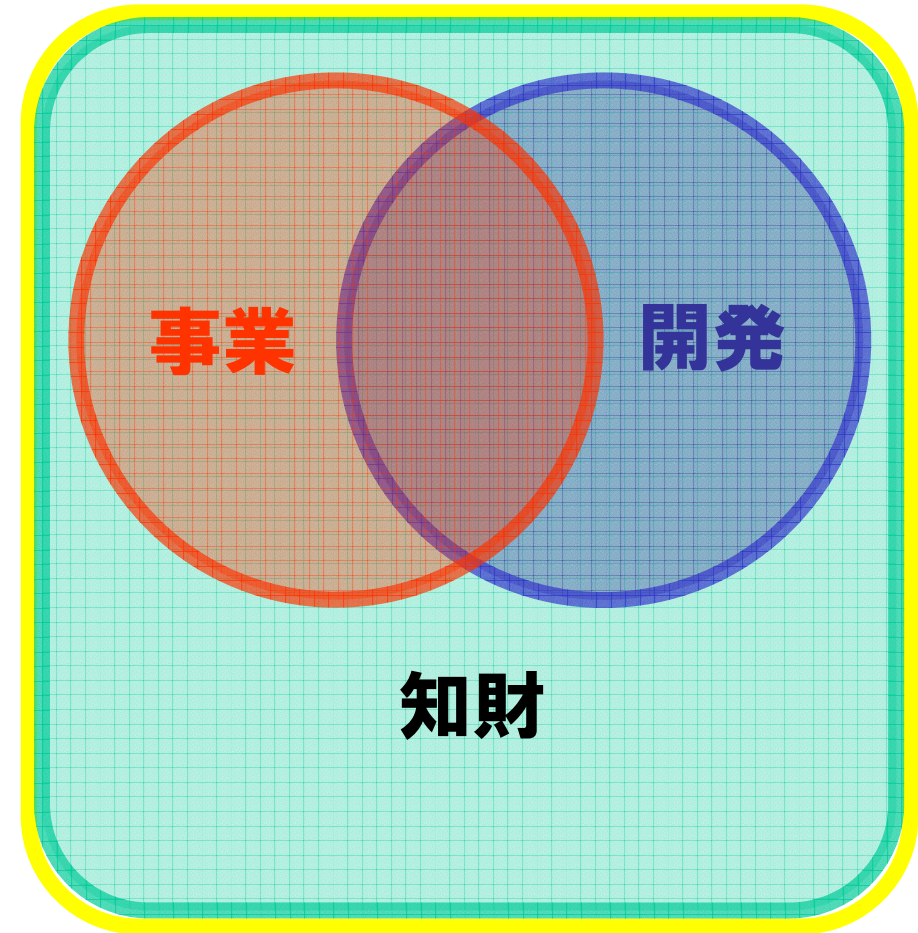
諸活動のバランスを取る  
ことが経営活動そのもの



『三位一体』というけど・・・

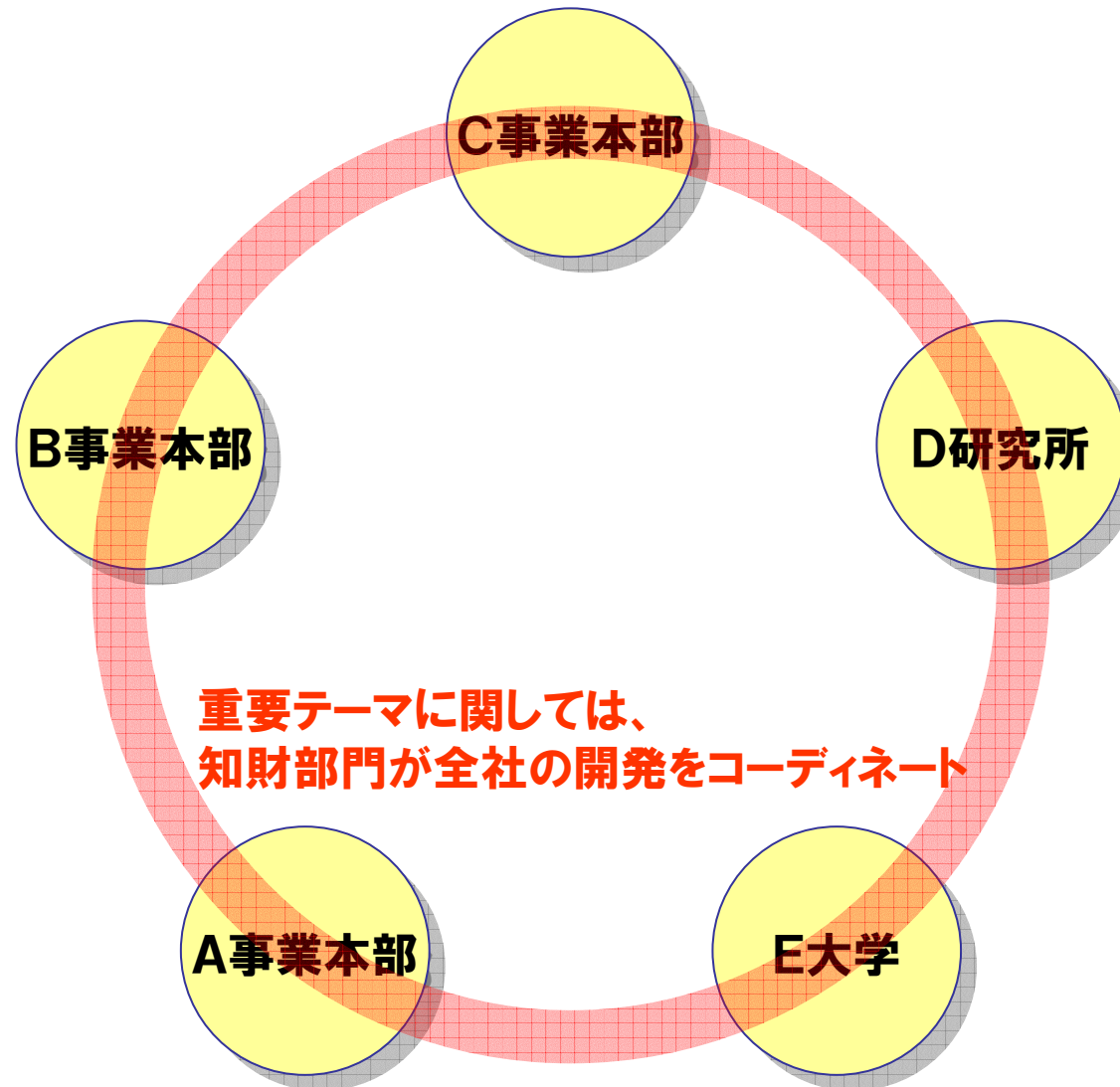


- 現代の経営では対応を要する事が多すぎる
- 時代の変化が早い



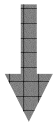
- 隙間を何処が埋めるのか  
→ 価値を決める  
(住友重機械・羽片さんの「精霊」定義)

## 知財活動を通じた技術思想の共有

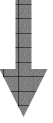




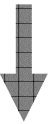
① 全社知財戦略 (2005年度)



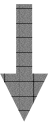
② 本部知財戦略の策定 (2007年度)



③ IP総括責任者会議での報告(1回/年) (2008年度～)



④ 事業部長、技術部長クラスとの知財整合会 (1回/期)(2006年度～)



⑤ 重点テーマの知財壁構築活動





### 虫の目、魚の目、鳥の目

●虫の目・・・一件、一件の出願を  
(通常の知財活動) 複眼的に確実に作って  
ゆく でも見え方は1次元的



●魚の目・・・360°で見る  
(戦略的知財活動) (知財ポートフォリオをコーディネート)



●鳥の目・・・知財の体系を  
(中長期経営視点) 現在～将来経営者  
での知財活動) の目で見える



## 2. 知財人材の育成（『人材』から『人財』へ）

### Leadership、Management、Specialist



#### **Leader**

・・・役職グレードに拘わらず  
誰でもなれる

見えない大陸を指させる人: Vision+戦略+方針

#### **Manager**

・・・主として、役職者



なんとしてもやり切れる人: 高い課題+確実な成果

#### **Specialist**

・・・知財担当者、業務担当者

専門分野を極めた（専門特化した）上で、  
経営者（知の統合化を図っている人）に分かる  
言葉で伝えられる人: 専門性+経営常識+比喩力

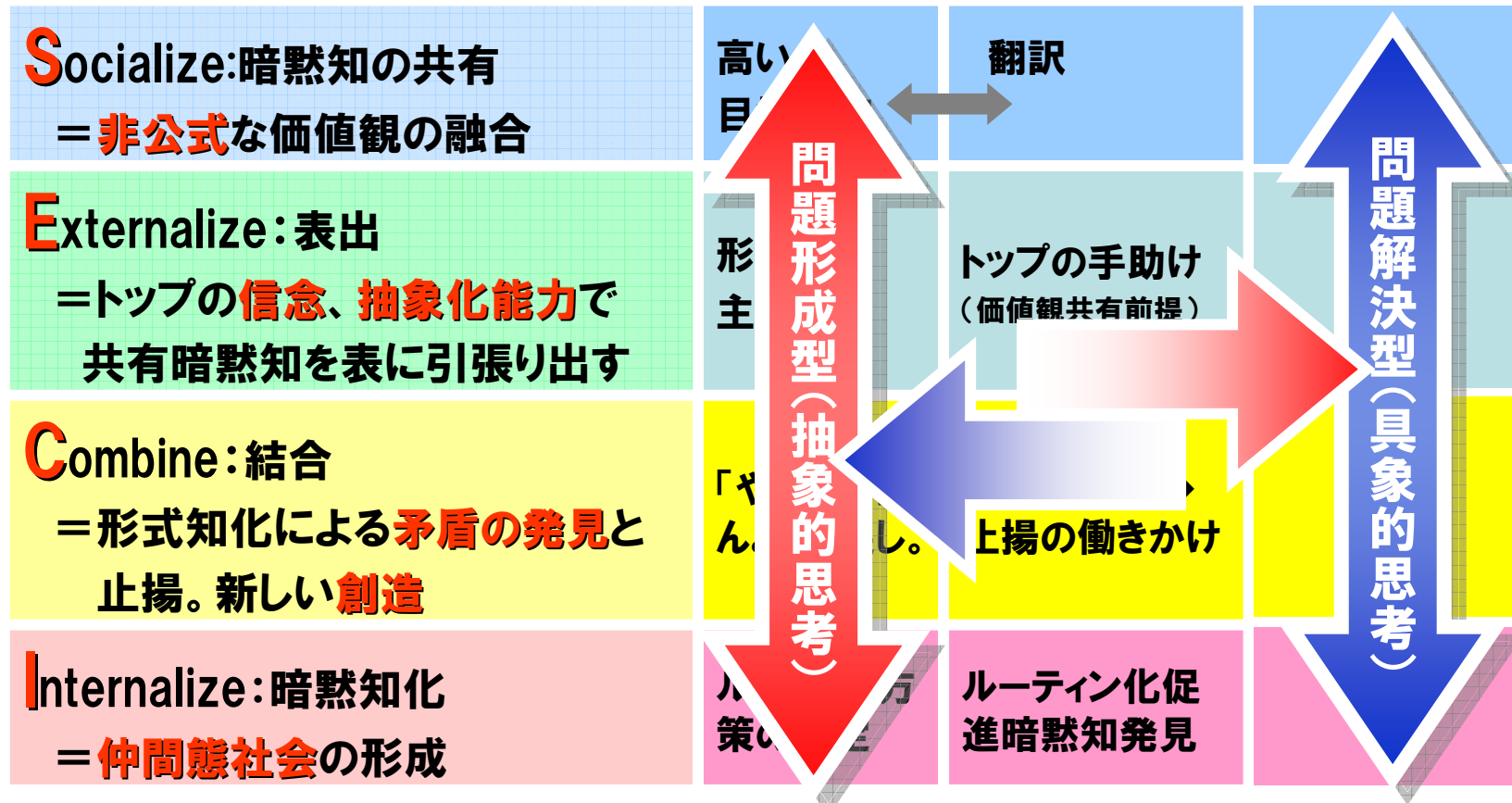
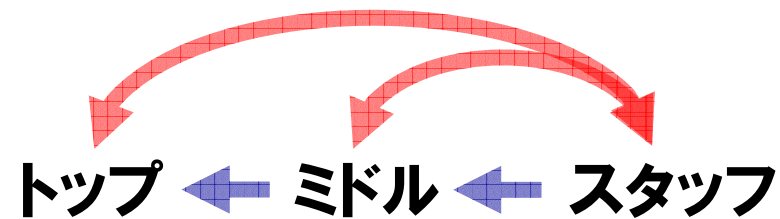


プロフェッショナル  
アマチュア

### ミドルアップ&ダウンの本質は？

京都大学・宗定教授PPTより、一部加筆

### SECIモデル



年々好年、日々好日



ご清聴、ありがとうございました。